

NVR用
操作手順書⑥
ディスプレイ項目設定
(1.00版)

2026 年 09 月 15 日



WDJ Hi-Tech Inc.

株式会社 WDJ ハイテク

(1.00 版)

Copyright © 2026 WDJ Hi-Tech Inc. All Rights Reserved.

文書番号:WDJ-Tec-MAN-054



— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2026/09/15	新規			新規作成

1. 本書に関して	3
1.1. 本書について	3
2. 画面操作の基本	4
2.1. マウス操作	4
2.2. ソフトウェアキーボード操作	4
3. ディスプレイ	5
3.1. ディスプレイ設定	6
3.2. 2画面表示	8
3.3. ツアー設定	13

1. 本書に関して

1.1. 本書について

- ・ 本書は WG-NVR162-S（以下、レコーダー）を、簡単に設定して頂くための手順です。
- ・ 本書は、『表示』、『ツアー設定』に関して簡単に説明します。

1.1.1. 本書の注意点

ご使用のファームウェアによっては、本書と一部異なる画面及び文言になる場合があります。

2. 画面操作の基本

本レコーダーは、キーボードを使用せずに、マウスだけで操作を行います。
キーボード操作が必要な場合には ソフトウェアキーボードを使用します。
本章ではマウスの基本操作とソフトウェアキーボードの使用方法に関して簡単に説明します。

2.1. マウス操作

・基本の操作は下記の通りです。

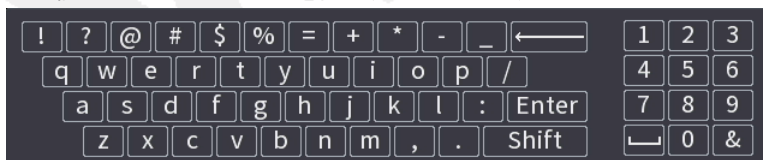
左クリック	選択、決定
右クリック	キャンセル

2.2. ソフトウェアキーボード操作

1) パスワードなど文字入力が必要な場合



入力欄にマウスポインターを置き、左クリックするとソフトウェアキーボードが表示されます。



 は“スペース”、 は、“1 文字消去” です。

『Shift』をクリックすると、大文字入力用に変更できます。



2) マウスで文字及び数字を左クリックし文字列を入力し、最後に 『Enter』 をクリックし、入力を確定させます。

3) 時間や年など数字のみの入力が必要な場合は



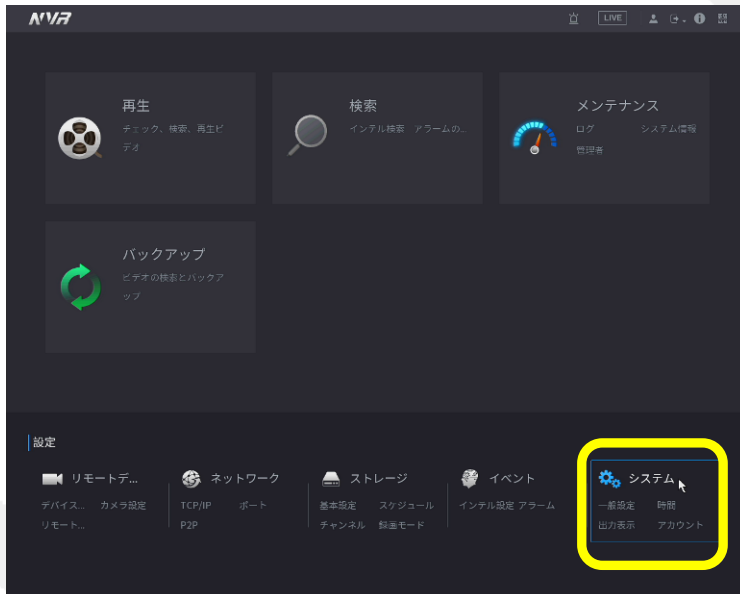
入力欄にマウスポインターを置くと
テンキーだけのソフトウェアキーボードが表示されます。



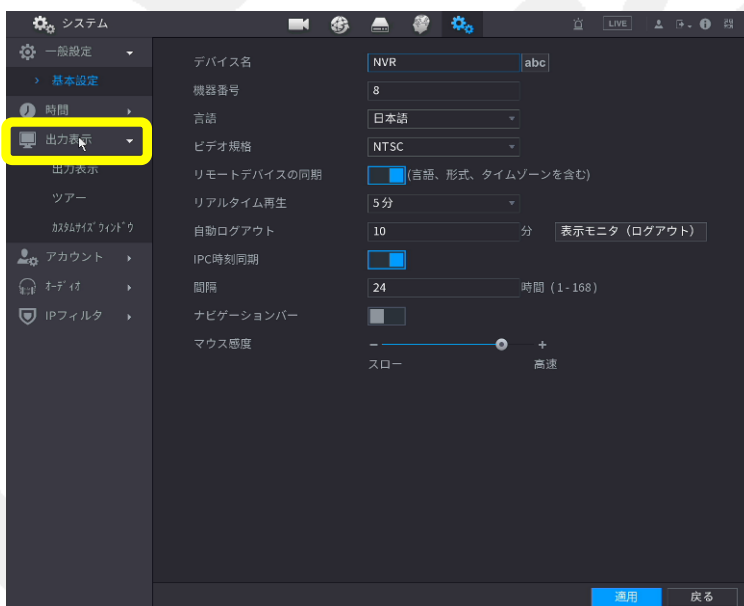
4) テンキーソフトウェアキーボードは Enter キーがないので
入力終了後、入力欄にマウスポインターを置き、左クリックで入力を確定させます。

3. ディスプレイ

- 1) メインメニューの『システム』をクリックして下さい。



- 2) 左のリストから『出力表示』をクリックして下さい。



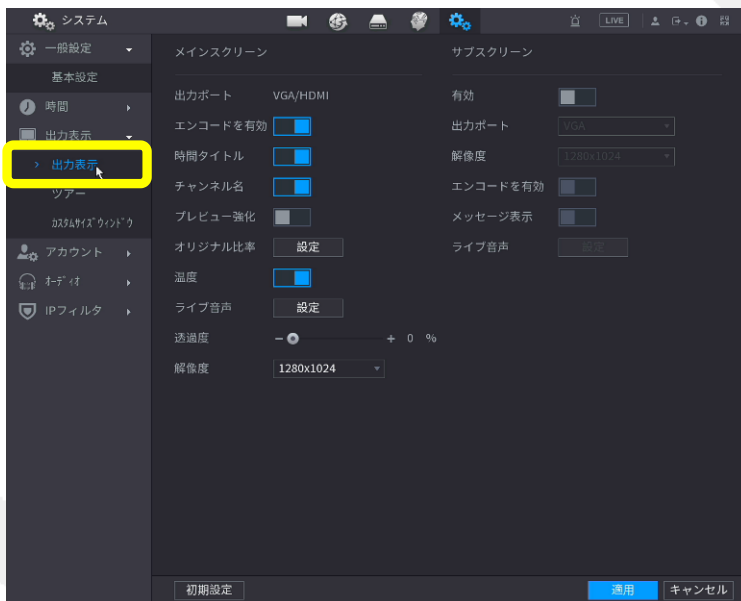
※システムのアイコンの内にある『出力表示』をクリックすると、出力表示の設定画面を表示することも可能です。



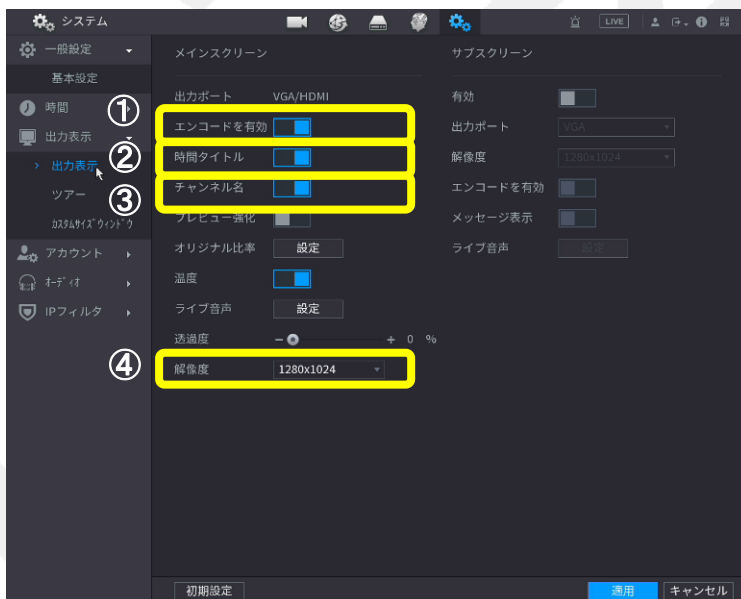
3.1. ディスプレイ設定

ここでは、使用頻度の高い エンコードを有効 / 時間タイトル / チャンネル名 / 解像度について簡単に説明します。

- 1) 出力表示のリストから『出力表示』をクリックし、ディスプレイ出力の設定画面を表示します。



- 2) エンコードを有効 / 時間タイトル / チャンネル名 / 解像度の設定をします。



① エンコードを有効

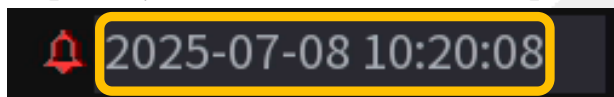
IP カメラから送信されたライブ映像のデータを表示する機能です。

ライブ画面で映像を表示する場合は、有効にします。

※無効にした場合、全てのチャンネルに“デコード不可”が表示されます。

② 時間タイトル

ライブ映像視聴時にレコーダーの時刻を表示する機能です。
表示をさせる場合はチェックボックスにチェックを入れます。



※時刻はライブ画面の右上に表示されます。

※日付時刻の設定は、左のリストの「時間」-「日付時刻」にて、時刻の設定や日付形式などの設定が表示されるので、そこで設定します。詳細は「NVR 用 操作手順書⑦（システム(操作_システム管理項目)設定)」を参照して下さい。

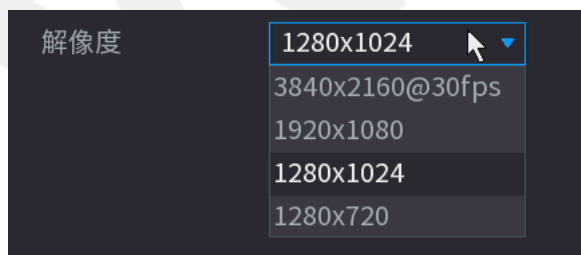
③ チャンネル名

ライブ映像視聴時に各チャンネルの左下にチャンネル名とイベントアイコンを表示する機能です。
表示をさせる場合はチェックボックスにチェックを入れます。

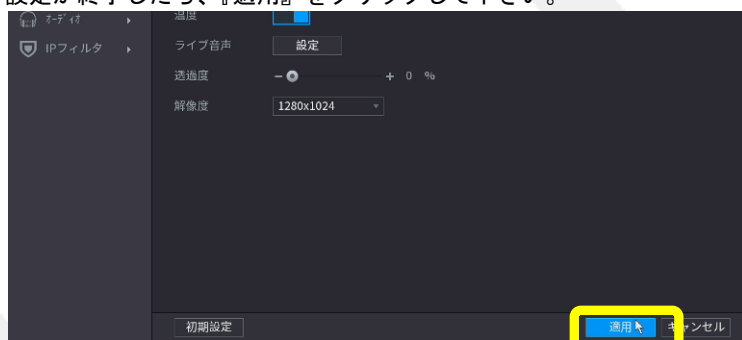


④ 解像度

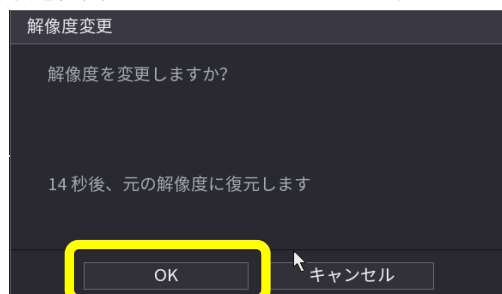
プルダウンしたリストの解像度から最適な解像度を選択します。



3) 設定が終了したら、『適用』をクリックして下さい。



※解像度を変更すると、下記メッセージが表示されますので、『OK』をクリックして下さい。



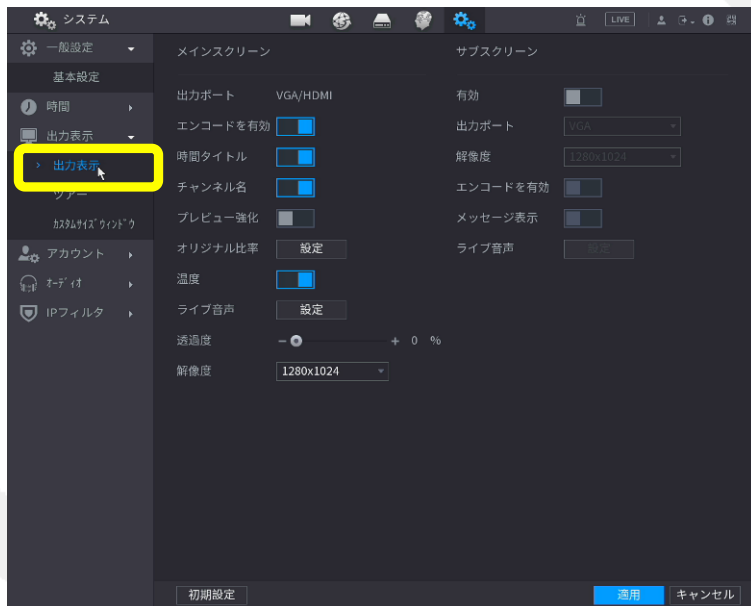
＜『適用』のクリック後にモニターに映像が表示しなくなった場合＞

モニターが変更した解像度に対応していない可能性があります。15 秒間に上記のメッセージ画面の『OK』をクリックしない場合は、変更前の解像度に戻りますので、15 秒間マウス操作をしないで下さい。

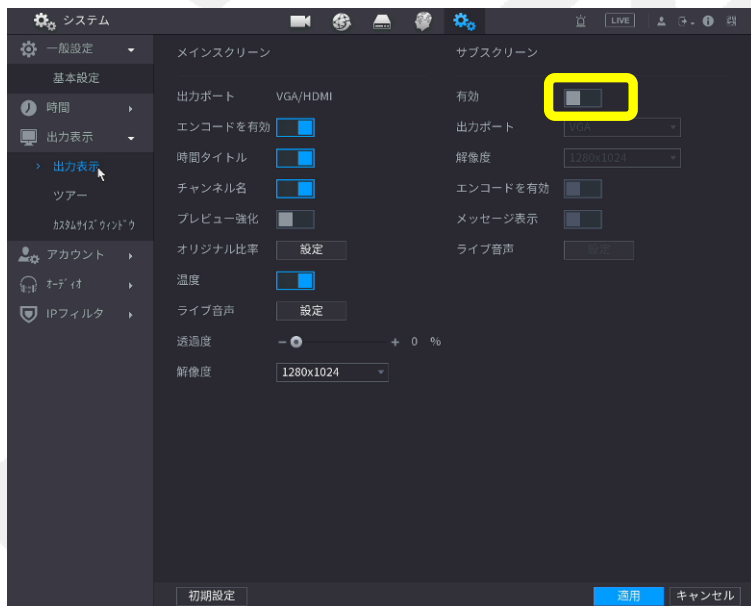
3.2. 2画面表示

3.2.1. 2画面の有効設定

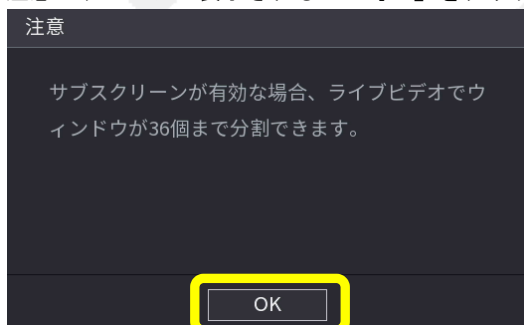
- 1) 『出力表示』をクリックし、ディスプレイ出力の設定画面を表示します。



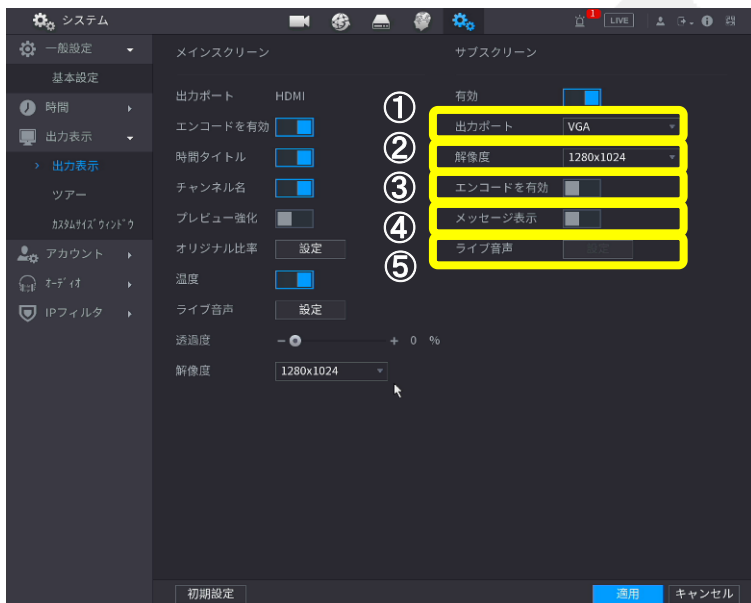
- 2) サブスクリーンを有効にします。



- 3) 注意メッセージが表示されるので『OK』をクリックして下さい。



- 4) サブスクリーンの項目の『解像度』、エンコードスクリーン有効で『外部スクリーン』にチェックを入れます。



	項目	概要
①	出力ポート	サブスクリーンの出力ポートを設定します。
②	解像度	サブスクリーンの解像度を設定します。
③	エンコードを有効	サブスクリーンでの映像出力をするか否かの設定をします。
④	メッセージ表示	サブスクリーンにイベント等のメッセージ表示を行うか否かの設定をします。
⑤	ライブ音声	サブスクリーンでライブ映像の音声を出力するか否かの設定をします。

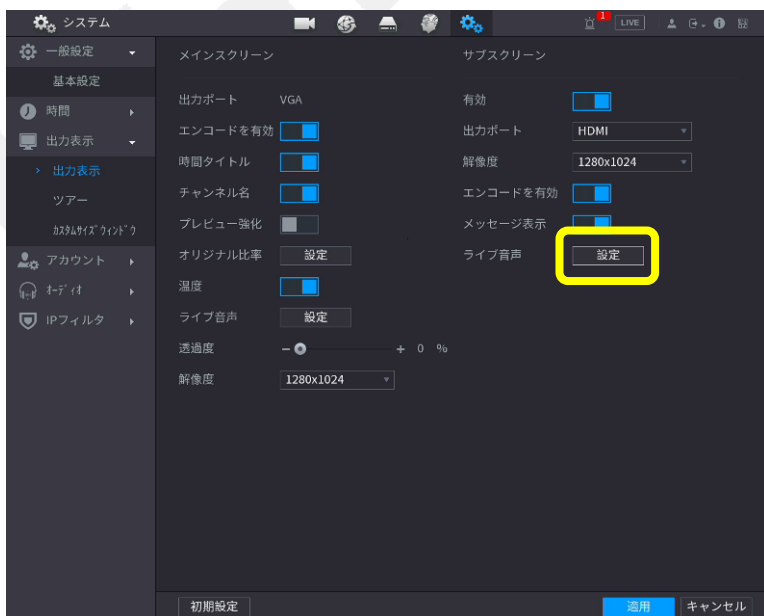
※メインスクリーンとサブスクリーンの設定は異なりますので、各スクリーンの項目で出力設定をして下さい。

※サブスクリーンの出力ポートで VGA を選択すると、メインスクリーンは HDMI となり、HDMI を選択すると、メインスクリーンは VGA になります。

※「エンコードを有効」の項目が無効 () の場合、サブスクリーンの全てのチャンネルで **デコード不可** の表示が表示されます。

※サブスクリーンのライブ音声の設定は、出力ポートが HDMI の場合のみ設定ができます。

- 5) サブスクリーンのライブ音声の『設定』をクリックし、ライブ音声の出力の設定を行います。

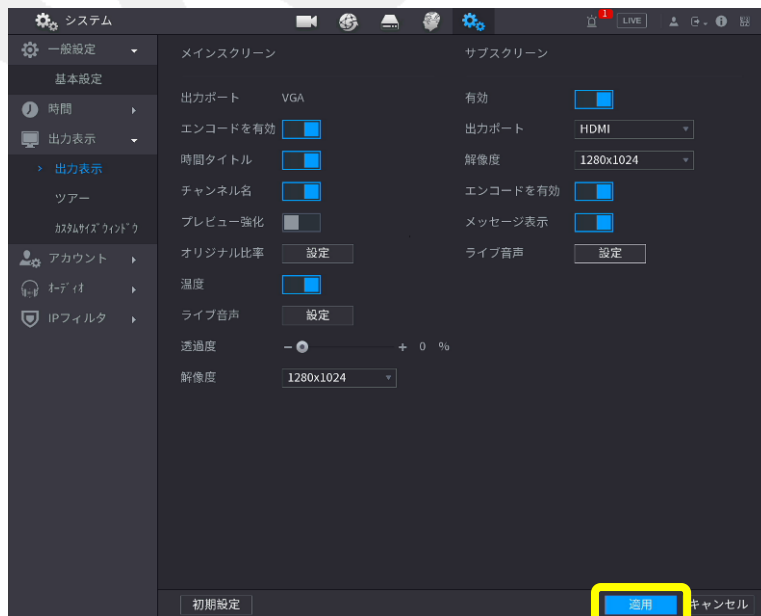


- 6) ライブ音声の設定画面が表示されるので、『有効』(④)を有効(右ヘスライド: 青色に変更) にして、『OK』(⑤)をクリックして下さい。

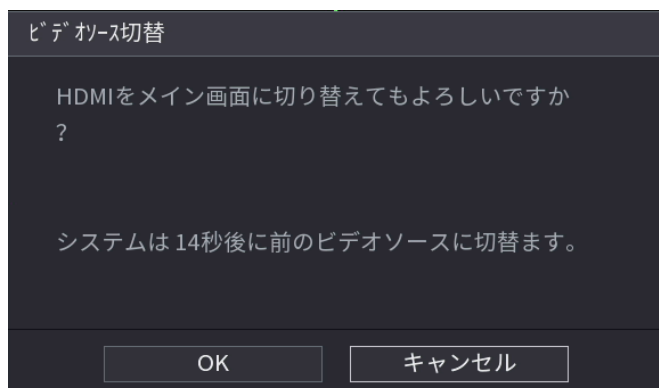


※サブスクリーンからの音声出力が不要の場合は、「有効」の項目を無効()にして下さい。

- 7) 設定が終了したら、『適用』をクリックして、設定を保存します。



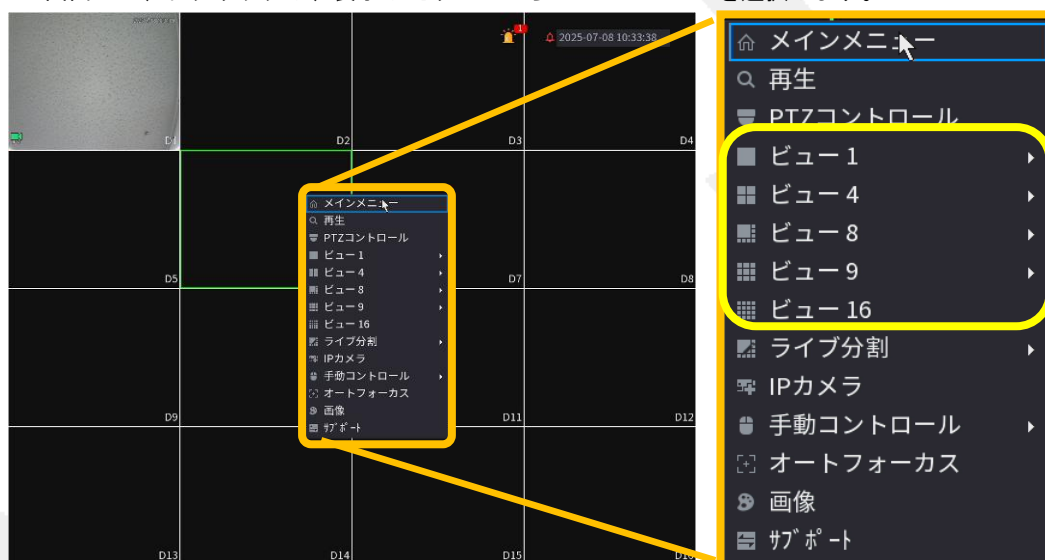
※出力ポートを変更した場合、以下のメッセージが表示されますので、『OK』をクリックして下さい。



3.2.2. 画面表示設定

3.2.2.1. メインスクリーンの画面表示設定

ビュー画面にて、右クリックし、表示したリストからビューのモードを選択します。



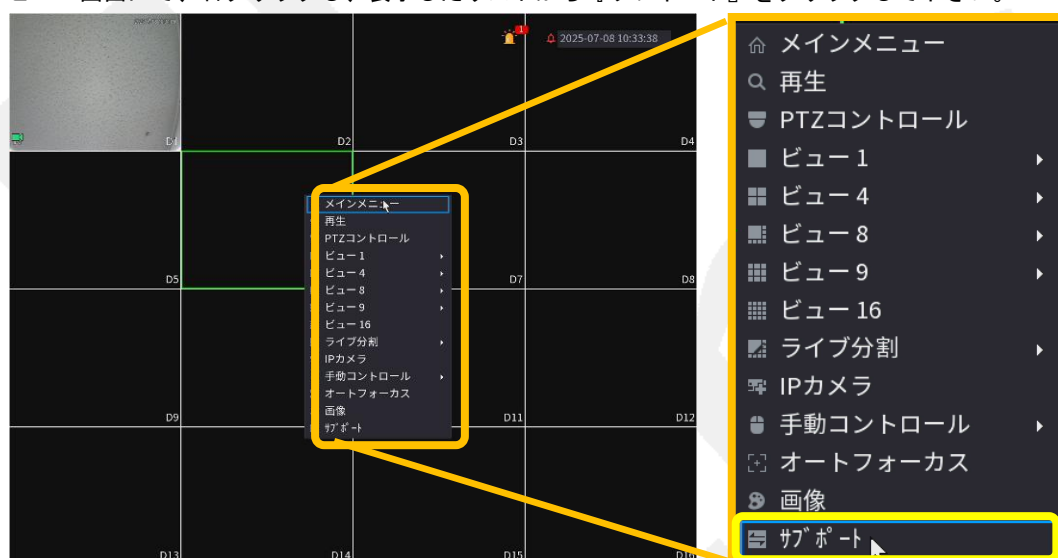
※メインスクリーンは以下が選択できます。

ビュー	表示チャンネル
ビュー1	CH1, CH2, CH15, CH16
ビュー4	CH1～CH4, CH5～CH8, CH9～CH12, CH13～CH16
ビュー8	CH1～CH8, CH9～CH16
ビュー9	CH1～CH9, CH8～CH16
ビュー16	CH1～CH16

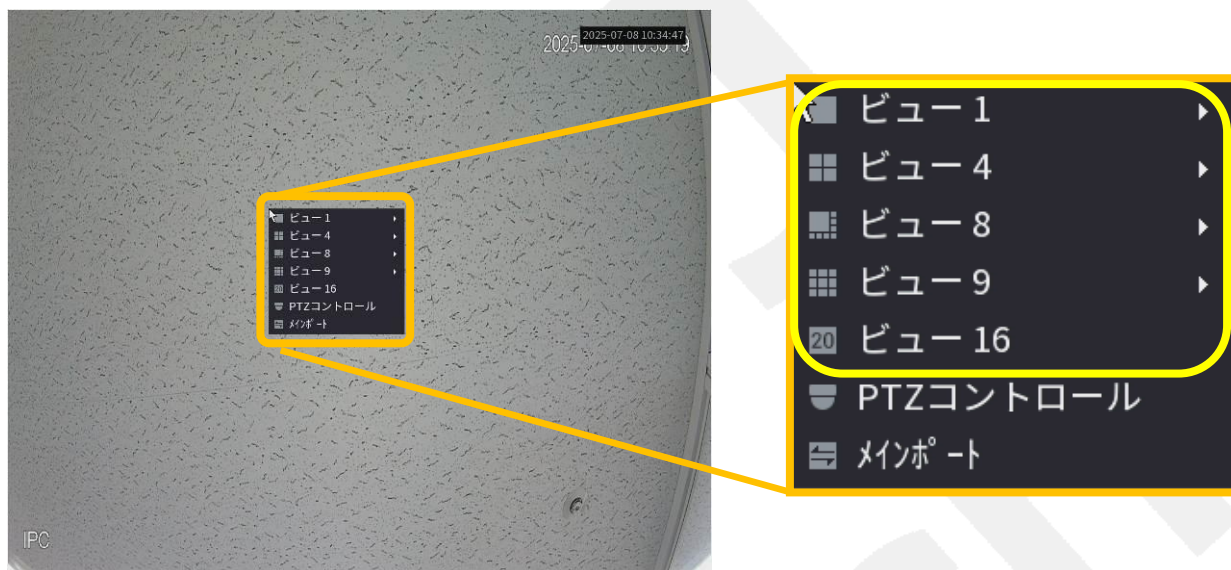
3.2.2.2. サブスクリーンの画面表示設定

サブスクリーンの画面の表示設定は、メインスクリーンからの操作では変更するができません。サブスクリーンへの切り替えを行う必要があります。

- 1) ビュー画面にて、右クリックし、表示したリストから『サブポート』をクリックして下さい。



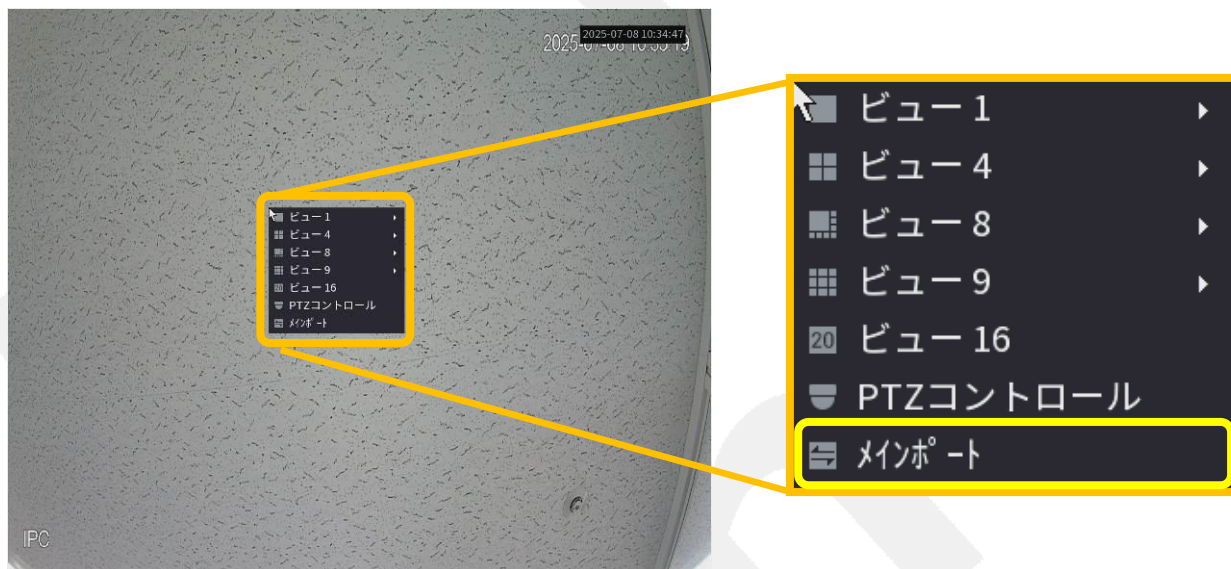
- 2) メインスクリーンの操作から、サブスクリーンの操作に変更されるので、ビュー画面にて右クリックし、表示したリストからビューのモードを選択します。



※サブスクリーンは以下が選択できます。

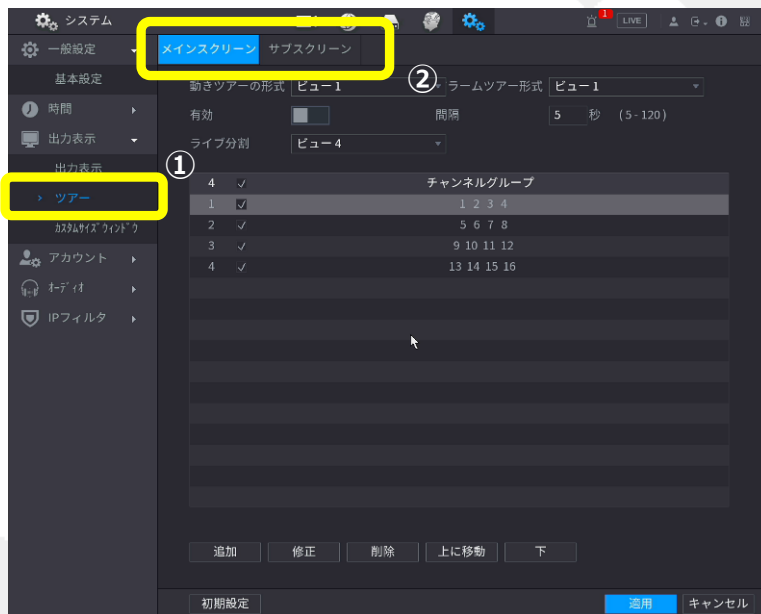
ビュー	表示チャンネル
ビュー1	CH1, CH2, CH15, CH16
ビュー4	CH1～CH4, CH5～CH8, CH9～CH12, CH13～CH16
ビュー8	CH1～CH8, CH9～CH16
ビュー9	CH1～CH9, CH8～CH16
ビュー16	CH1～CH16

- 3) サブスクリーンのビューの設定が終了したら、右クリックし、表示したリストから『メインポート』をクリックして下さい。



3.3. ツアー設定

出力表示のリストから『ツアー』(①)をクリックし、上部のタブから『メインスクリーン』または、『サブスクリーン』を選択(②)します。



※サブスクリーンでのツアーは、ディスプレイ設定でサブスクリーンを有効にする必要があります。

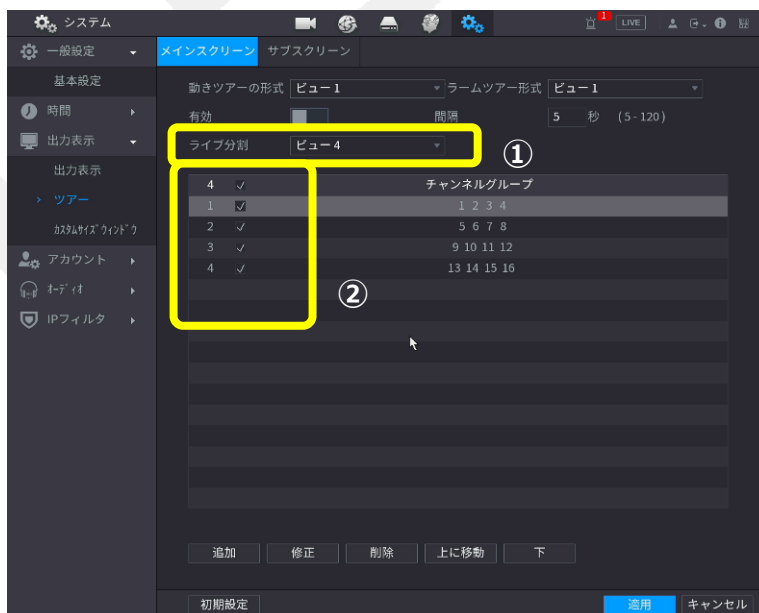
※ツアー機能は、一定時間間隔で表示画面を切り替える機能で、1. 通常ツアー、2. 動き検知時ツアー、3. アラーム入力時ツアーの3種類があります。優先順位は、1. アラーム入力ツアー、2. 動き検知ツアー、3. 通常ツアーの順となります。

3.3.1. 通常ツアー

ツアー時に表示させる画面の選択を行います。

※初期状態では、4分割ツアーのみチェックが入っています。

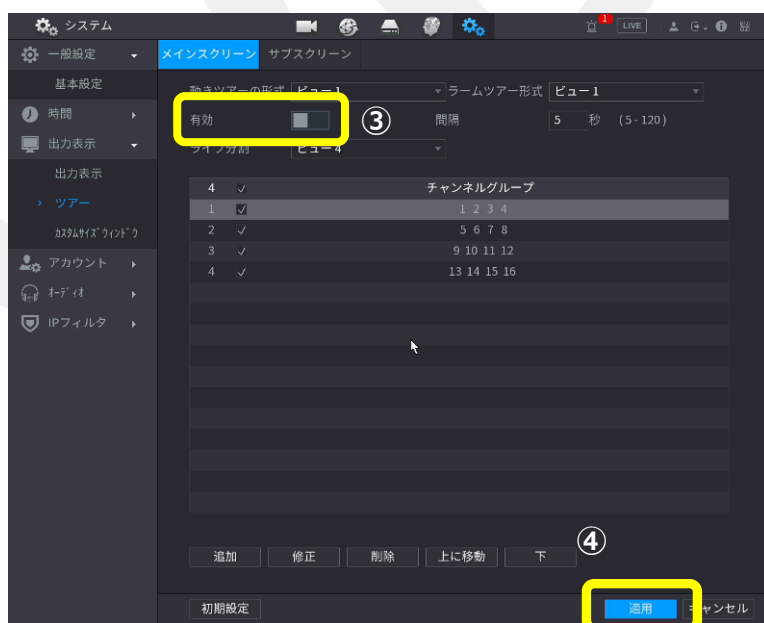
- 1) 画面分割数(①)を選択し、表示する画面のチェックボックス(②)にチェックを入れ表示画面の設定を行います。



- 2) 画面表示時間間隔を設定します。
 間隔入力欄にマウスのポインターを置いてクリックし、ソフトウェアキーボードを表示させます。
 ソフトウェアキーボードの数字キーをクリックして、画面表示間隔を設定します。



- 3) ツアの『有効』(③)を有効(右ヘスライド: 青色に変更) にして、『適用』(④)をクリックし、ツアー設定を終了させます。



※ 有効の設定は、上部タブで選択したスクリーンのみです。両スクリーンやサブスクリーンでツアーを行う場合は、サブスクリーンを選択し、1)から同様に設定をして下さい。

3.3.1. 動きツアー

『動きツアーの形式』は、動体検知時のツアー表示になります。動きツアーの有効/表示カメラの設定は、動体検知の設定画面でツアー機能を有効にし、設定ボタンからツアー表示を行うカメラを選択します。



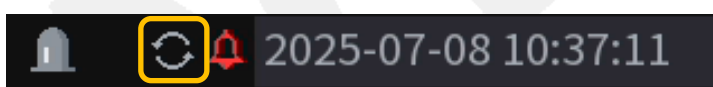
3.3.2. アラームツアー

『アラームツアーの形式』は、ローカルアラーム入力時のツアー表示になります。アラームツアーの有効/表示カメラの設定は、ローカルアラームの設定画面でツアー機能を有効にし、設定ボタンからツアー表示を行うカメラを選択します。



3.3.3. ツアーの有効/無効簡易設定

通常ツアーの設定を有効にすると、画面右上のレコーダー時刻表示の左側にが表示されます。



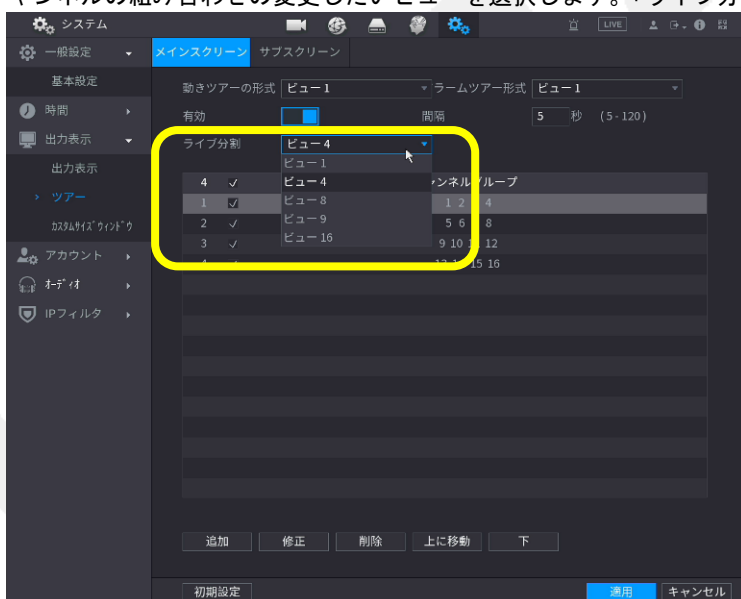
このマークをクリックすると、通常ツアーの有効/無効を切り替えることができます。

はツアー機能が有効、はツアー機能が無効を表します。

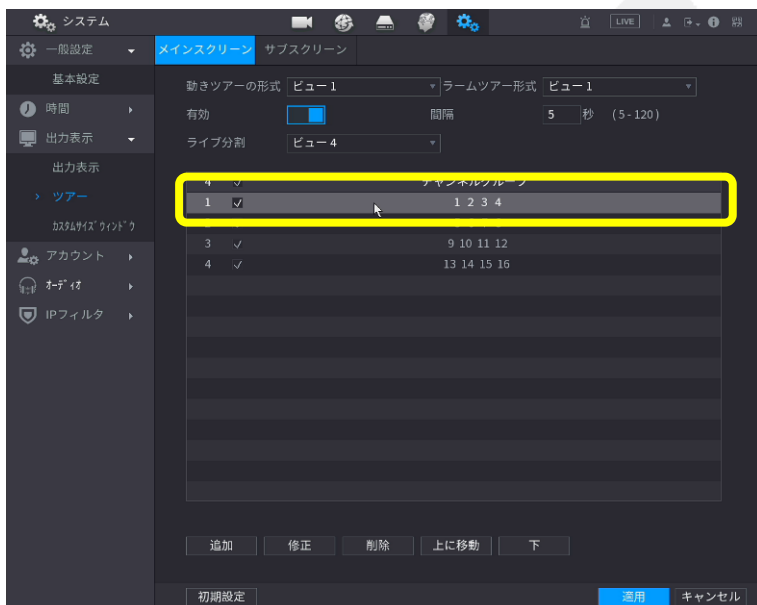
3.3.4. ツアー画面のカスタマイズ

通常ツアー時の表示チャンネルの組み合わせを、カスタマイズすることが出来ます。

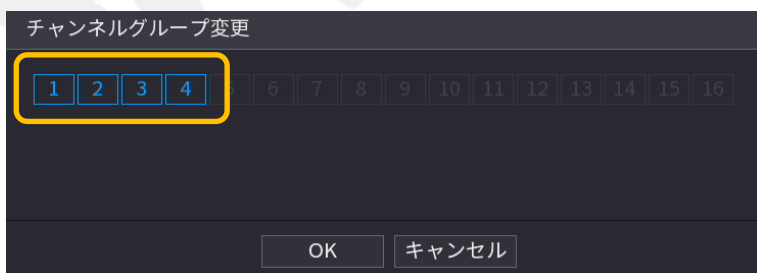
- 1) チャンネルの組み合わせの変更したいビューを選択します。「ライブ分割」のプルダウンからビューを選択して下さい。



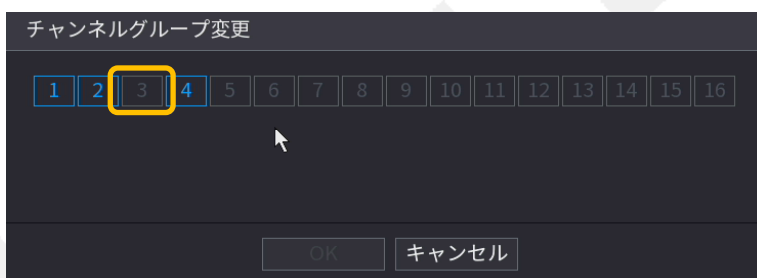
- 2) チャンネルの組み合わせを変更したいグループのビューをダブルクリックして下さい。



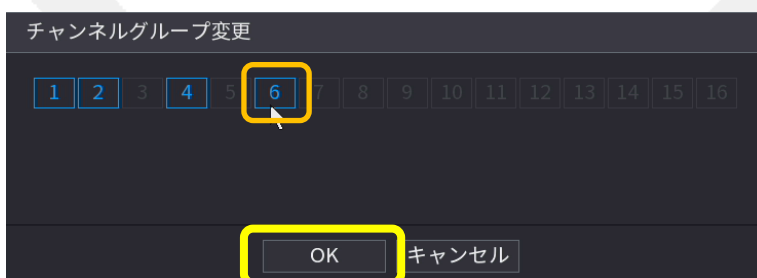
- 3) チャンネルグループ変更の画面が表示されます。青色枠で表示されているチャンネルが現在選択済みのチャンネルです。



- 4) 選択しないチャンネルをクリックし、青色枠が解除されたことを確認します。



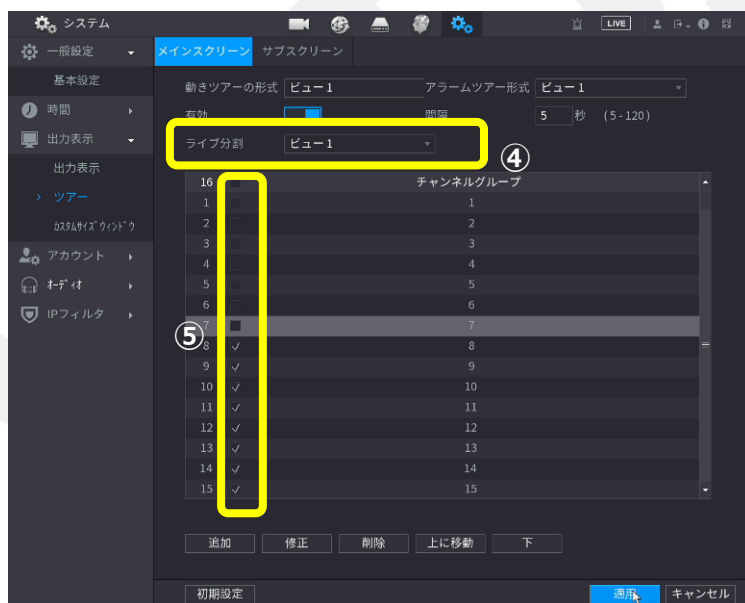
- 5) 表示したいチャンネルをクリックし、青色枠で表示されたことを確認し、『OK』をクリックして下さい。



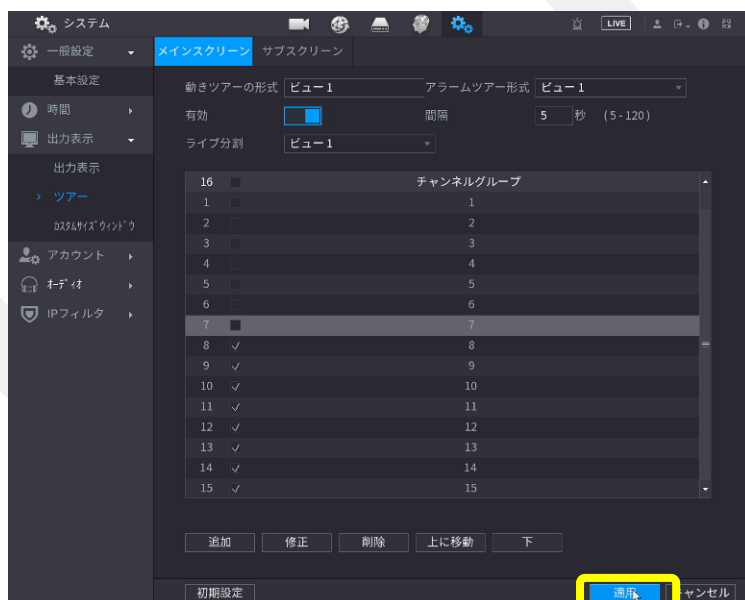
- 6) 表示選択画面が変更されたことを確認します。

4	✓	チャンネルグループ
1	✓	1 2 4 6
2	✓	5 6 7 8
3	✓	9 10 11 12
4	✓	13 14 15 16

- 7) 「ライブ分割」から各ビューを選択(④)し、表示を行うチャンネルやグループにチェック(⑤)を入れ、表示を行わない場合はチェック(⑤)を外します。



- 8) 設定が終了したら、『適用』をクリックし変更を確定させます。



以上